

地球にECO(いーご)としよう



省エネグループ通信



たくさんの笑顔が見られますように

生涯学習財団 加藤 彰

あっ！今回は、新しい資料が加わったな。

省エネグループの皆さんと環境出前授業に出かけると、何かしら新たな発見があります。それを楽しみに、出前授業にご一緒させていただいてから、4年が経ちました。

4年前の頃の授業は、プレゼンの内容を子どもたちに正確に伝えようと懸命だったように思います。しかし、年々学習内容がそれぞれの学校にあったものに手直しされ、要求に応じておられ楽しみが増えました。それにつれられて、プレゼンターの方々も一人ひとりの子どもたちの意見を聞き、生かしておられるので、感心するばかりです。

授業後半の省エネ体験も、ずいぶん変わってきました。3つの場が工夫されて分かりやすく設定されました。



この工夫が、毎回のように子どもたちを夢中にさせています。授業後、一人ひとりの子どもたちの質問に、大変丁寧に回答されていることにも、いつも驚かされています。

これからも、多くの子どもたちがこの授業に出会い、笑顔がたくさん見られることを願っています。

エネルギー・環境子どもワーク

ショップと省エネグループ

ワークショップ実行委員会事務局(小倉小 教頭)
佐川 昌広

毎年2月中旬の土曜、大戸小体育館で「エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎」が開催されます。環境・エネルギー教育に取り組む市内約20の小中学校が参加し、子どもが発表したり、他校ブースを見学したり交流を深めています。

昨年の10周年記念ワークショップでは、省エネグループの皆様大人ブースを開いていただきました。電気実験が体験でき、子どもだけでなく保護者や教員にも好評でした。

環境・エネルギー教育に取り組む学校は、効果的に学習を進めるため市民団体・企業の出前授業や資料を探しています。逆に市民団体・企業は、見学会やイベントに参加する学校を探しているようです。そこで、ワークショップ実行委員会では、学校と市民団体・企業との橋渡しも積極的に行うようにしています。更に教員からの視点による出前授業への改善提案、施設見学やイベントへのアドバイス等も始めています。もちろん、省エネグループの「夏休みエコライフ・チャレンジ」も各校に宣伝します。



「エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎」

省エネグループ活動報告と予定

2013年度も会員34名が夏エコチーム、エコたのしみ隊、企画チーム、広報チームに分かれて、市民に対する省エネ意識の普及啓発の活動を活発に行ってきました。夏エコチームは酒井リーダー以下11名で、夏休みエコライフ・チャレンジの活動を行いました。エコ楽しみ隊は水谷リーダー以下16名で市内の小中学校に対する出前授業、自治会・町内会向けの出前講座、市内各所でのイベントに積極的に参加しました。企画チームは友政リーダーのもとメンバーのスキルアップのための活動や夏休みの自由研究講座の開催等を行い、チームの今後についての方向性の検討を行いました。広報チームは松下リーダーのもと省エネグループ通信の発行をはじめグループの活動を知らせる活動を行いました。

2014年度も川崎市地球温暖化防止活動推進センターの実践活動プロジェクトとして活動します。昨年度の各活動の中から見えてきた問題点を話し合い、整理し、それぞれに反映させて、さすが省エネグループと言われる活動を目指します。皆様もぜひ参加してください。一緒にやりましょう！！

エコ楽しみ隊

○出前授業関係

2013年度実績は、延べ23校、67クラス、2204名の5年生が、「温暖化」「節電」「エネルギー」「葉っぱはえらい」のプログラムから選んだ内容での講義と「発電体験」に熱心に取り組んでくれました。特記すべきことは、上記のプログラムの中に、「大気・水質汚染」「絶滅危惧種」「森林破壊」など学校の希望を柔軟に取り入れて授業をしたことです。先生方からは、環境学習のキッカケ作りになり、子ども達はその中から取り組む課題を見つけて自分達で調べて、

学習発表まで進むことができたとのコメントが聞かれ、少しは学習のお手伝いできたと安堵しています。子ども達のアンケートからは「良く授業を聞いて理解している」ことが伺え、また「難しいことを絵や図も使って分かり易く説明してくれた」ことなどの好意的な意見が多数ありました。

2014年度は、他団体との協働も視野に入れて、プログラムも最新情報を加味するなどの見直しも行



い、実績校に加えて新たな学校へも横広げしていきたいと考えています。4～5月に希望のアンケートを予定していますので、希望して頂ければ幸いです。待っています。

○イベント関係

2013年度は、市内15ヶ所で開催し、ブースに来場された市民2074名に対して「節電・省エネ」の啓発活動を積極的に行い、「節電・省エネ」の大切さを理解していただけたと感じています。手回し



発電体験や、電気の見える化装置を体験して頂き、「大人でも良く分かる」「こんなに電気代が違うんだ！」「省エネは大切だね」と理解を深めることができました。屋外でのイベントが多いので、悪天候で中止となったイベントもあり残念でした。2014年度は、2013年度実績イベントに加えて新たなイベントにも参加していく予定です。

○学習会

2013年度は、7ヶ所の自治会・町内会で「節電・省エネ」の学習会を実施しました。

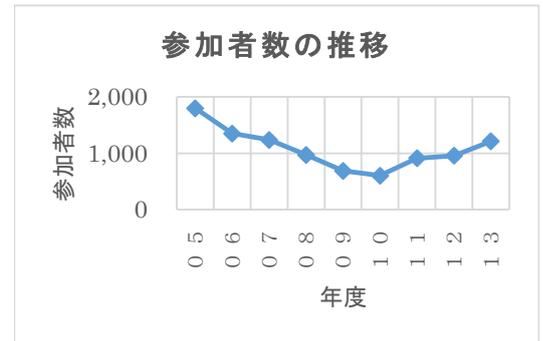
夏エコチーム

夏休みのエコライフ・チャレンジは、学校を通じて夏休みに家庭で実践する省エネ活動です。

2013年度は、本通信第3号に記載したように、秋以降に通年型のエコライフ・チャレンジをトライしました。その結果を表に、またこれまでの参加者数を図に示します。久しぶりに千名の大台を超える参加をいただきました。夏エコの実施率の低さについて、先生方のご意見を伺ったところ、環境授業とのタイミングの課題もあることが分かりました。従って、通年型では実施率の向上が見込まれることが分かりました。

夏休みのエコライフ・チャレンジは「低 CO2 川崎ブランド‘10」として認定されているので、残すことにし、2014年度は、「夏休み」と「通年型」のエコライフ・チャレンジの2本立てで行うことにしました。実施内容を再検討し、「やりやすい」「やりがいのある」エコライフ・チャレンジを提案したいと思います。

	希望人数	実施人数	実施率
夏休み	1767	755	43%
通年型	663	456	69%
合計	2430	1211	50%



企画チーム

2013年度は企画チームとして自分達のスキルアップを図り自覚を持って行動するを活動のテーマとして来ました。数度に渡り全員にアンケートを実施し自分たちの活動をどの様に位置付けるか、検討を重ねています。

スキルアップを目的に、講演会を例年通り2回(7, 11月)、さらに「葉っぱ」の理解のため、「樹木観察勉強会」を初めて開催しました。8月には、「夏休み自由研究講座」で燃料電池やレモン電池の製作に多数の児童・保護者に参加して頂きました。2月に予定した「エネルギー・環境子どもワークショップin

川崎」は大雪のため中止になり残念でした。

今年度は前年度に引き続き、講演会、「夏休み自由研究講座」などを予定しています。さらに、初めて専門家の外部講師にお願いして少しハイレベルな「講演会」も予定しております。皆様に喜んで頂く企画を是非お寄せ下さい。



広報チーム

昨年5月に「省エネグループ通信」創刊号を発行し、本号で第4号となりました。省エネグループの活動を紹介するとともに、省エネ情報を提供してきました。今後ともご愛読をお願いします。また、9月には、ホームページ(URL は4ページを参照)をリニューアルし、読みやすく、タイムリーに活動報告をしています。さらに、右に示すポスターも新しく作成し、イベント等で使用しています。

省エネグループは2001年に発足し、今年で14年目になります。これまで試行錯誤の活動経過を今年度中にまとめ、今後の我々の活動の参考とする予定です。皆様にも読んでいただき、ご指導をいただきたいと思います。



私のエコ体験

私の「地球温暖化対策」を見つけよう

環境カウンセラー(市民部門) 庄司 佳子

私が環境に関心を持ち、取り組みを始めたのは1992年。リオデジャネイロで開催された「持続可能な開発」という理念の下に環境と開発の両立を目指した「国連環境開発会議」(地球サミット)と同じ年。私の最初の取り組みは、身近なところで始まった



庄司 佳子さん

ごみ問題でしたが、その後、環境学習、生物多様性保全にも関心を広げ、1998年からスタートした川崎の温暖化の取り組みにも関わり始めました。

その間、いろいろな取り組みをつぶさに見る機会を得、川崎は今や公害の街というイメージを払拭し、多くの事業者の環境改善、先進的な環境技術が蓄積する街に変化したことを実感しています。「かわさきコンパクト」や「低 CO2 川崎ブランド」「かわさき環境ショーウィンドウ事業」などの仕組みの中で、多くの事業者・市民団体の取り組みに触れる機会を得て、これを多くの川崎の子どもたちに発信していきたいと強く感じています。企業見学会や環境学習の中で伝え、次の一步を担う人が増えることを期待しています。

かわさきコンパクトの市民コンパクトの宣言のなかに、「わたしの『地球温暖化対策』を進めます」と

いう項がありますが、私の温暖化対策は、省エネとエコライフ、特にお湯の使い方に気を付けることです。水は大変なエネルギーを使って運ばれ、処理されていますが、お湯にすることで使われるエネルギーは倍以上に膨らむといわれています。適正な温度や必要以上の流量に気を付けて使うことは、とても重要です。ご自宅の温暖化対策を見つけるために、手軽に自宅のエコ度とその対策が分かる「うちエコ診断」(川崎市地球温暖化防止活動推進センターで実施)はいいヒントになりますので、ぜひ活用してみてください。

省エネグループメンバー紹介

メンバー現在34名です。若い方も居ますが、仕事があるので普段の活動はシニアが中心になって行っています。女性の会員も増えて、きめ細かな対応ができるようになりました。活動の後にはたいてい反省会と称し一杯やることも多く、長い人生経験からの話も聞けて楽しいですよ。お若い方もぜひ参加を！



3月の定例会に出席したメンバー

—ご意見をお寄せください—

本紙に対する、ご意見、ご要望、ご感想、更には皆様のエコ情報・体験などを下記へお寄せください。皆様と共に、地球環境を維持するため、「楽しく、かつこよく、得する」エコを実践していきたいと思っています。連絡先

川崎市地球温暖化防止活動推進センター 省エネグループ
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 高津市民館内
TEL 044-813-1313 FAX 044-813-1350

E-mail : office@kwccca.com

ホームページ : <http://syo-ene-group.sunnyday.jp/homepage/>

発行責任者: 省エネグループ代表 八木洋一

